



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦

問合せ先責任者(役職名) 取締役総務・財務経理担当兼総務部長 (氏名) 則武 勝 TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,051	14.3	751	88.7	1,187	109.2	1,088	227.7
2023年3月期第1四半期	21,914	9.2	398	△49.8	567	△40.3	332	△35.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,443百万円 (△22.8%) 2023年3月期第1四半期 3,163百万円 (14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	50.17	-
2023年3月期第1四半期	14.99	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	102,133	79,451	77.8	3,680.74
2023年3月期	102,802	78,310	76.2	3,603.34

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 79,451百万円 2023年3月期 78,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	42.00	82.00
2024年3月期	-				
2024年3月期(予想)		40.00	-	42.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	△0.1	1,000	81.1	1,300	22.2	1,100	171.4	50.62
通期	97,000	△5.0	3,200	6.4	3,800	△0.0	3,100	10.7	142.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	24,313,026株	2023年3月期	25,313,026株
2024年3月期1Q	2,727,360株	2023年3月期	3,580,340株
2024年3月期1Q	21,695,901株	2023年3月期1Q	22,161,514株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)役員及び従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）における世界経済は、中国経済の回復に減速が見られ、また欧米においても中央銀行がインフレを抑制するために急激に金利引き上げを行ったことが実態経済に悪影響を及ぼしており、依然として不透明な状況が続いております。

日本経済におきましては、消費者物価の上昇傾向は依然として続いているものの、半導体の供給制約の緩和に伴う自動車業界の景況感改善、賃金上昇及び株価上昇に伴う消費者マインドの改善、またインバウンド需要の急回復等もあり、全体としては回復傾向が見られます。

このような状況の中、当社グループは、2021年5月に公表した「第3次中期経営計画」に基づき、中長期的な成長戦略の実現に向けた基盤構築を進めつつ、生産体制の維持・強化を図ってまいりました。

この結果、売上高は25,051百万円（前年同期比14.3%増加）となり、営業利益は751百万円（前年同期比88.7%増加）、経常利益は1,187百万円（前年同期比109.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,088百万円（前年同期比227.7%増加）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、依然として消費財の需要回復の動きが鈍く、売上が減少しました。工業品合成樹脂製品分野においては、半導体の供給制約の緩和等に伴い車両関連売上が牽引し、売上が増加しました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品における価格改定効果もあり、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は5,235百万円（前年同期比1.5%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は165百万円（前年同期比18.2%増加）となりました。

（中国）

当第1四半期連結累計期間における中国現地法人の連結対象期間は1月から3月であります。前年度はコロナ禍におけるロックダウンの影響がスタート、取引先及び当社工場の一部操業停止や取引先の生産調整も発生しました。今年度は同様の事態は発生しておらず、工業品合成樹脂製品分野においては反動増により、売上が増加しました。一方、ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、雇用と所得環境が改善せず、消費者心理が回復に至っていないこともあり、売上が減少しました。

利益面につきましては、生産効率の改善に加え、労務費等の抑制にも継続的に取り組んでおり、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は5,567百万円（前年同期比5.7%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は342百万円（前年同期比285.0%増加）となりました。

（東南アジア）

当第1四半期連結累計期間における東南アジア現地法人の連結対象期間は1月から3月であります。前年度は取引先におけるコロナ禍や電子部品等の調達不足による生産調整もありましたが、今年度は同様の事態はさほど見られず、工業品合成樹脂製品分野においては売上が大幅に増加しました。

利益面につきましては売上増加を主な要因として、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は14,249百万円（前年同期比24.0%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は636百万円（前年同期比32.9%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて668百万円減少し、102,133百万円となりました。これは投資有価証券が1,016百万円、原材料及び貯蔵品が522百万円、それぞれ増加し、現預金が2,114百万円、受取手形及び売掛金が736百万円、それぞれ減少したこと等によります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計期間年度末に比べて1,809百万円減少し、22,682百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1,151百万円、減少したこと等によります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて1,141百万円増加し、79,451百万円となりました。これは資本剰余金が1,759百万円減少し、控除項目である自己株式が1,371百万円、為替換算調整勘定が958百万円、その他有価証券評価差額金が436百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で進捗しておりますので、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,677,991	28,563,831
受取手形及び売掛金	19,787,672	19,051,758
商品及び製品	3,669,068	3,727,662
仕掛品	688,595	698,263
原材料及び貯蔵品	5,077,348	5,599,765
その他	1,688,442	1,819,962
貸倒引当金	△1,258	△1,121
流動資産合計	61,587,858	59,460,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,305,325	14,428,826
機械装置及び運搬具（純額）	8,928,151	8,986,148
使用権資産（純額）	3,118,451	3,001,874
その他（純額）	3,674,909	3,807,882
有形固定資産合計	30,026,836	30,224,731
無形固定資産	2,736,059	2,772,119
投資その他の資産		
投資有価証券	4,756,915	5,772,450
退職給付に係る資産	2,817,877	2,822,133
繰延税金資産	177,474	179,851
その他	706,232	909,519
貸倒引当金	△7,407	△7,491
投資その他の資産合計	8,451,091	9,676,462
固定資産合計	41,213,986	42,673,312
資産合計	102,801,844	102,133,432

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,791,252	10,640,155
未払法人税等	608,039	417,612
賞与引当金	868,627	903,510
租税関連費用引当金	127,781	133,346
事業整理損失引当金	32,840	1,920
その他	4,492,167	4,115,162
流動負債合計	17,920,707	16,211,706
固定負債		
長期末払金	13,632	13,632
役員株式給付引当金	108,326	118,139
従業員株式給付引当金	3,757	4,624
退職給付に係る負債	393,806	402,275
リース債務	3,139,649	3,028,484
資産除去債務	502,178	508,218
繰延税金負債	2,344,388	2,330,333
事業構造改善引当金	64,994	64,675
固定負債合計	6,570,730	6,470,380
負債合計	24,491,437	22,682,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	14,856,522	13,097,410
利益剰余金	40,582,374	40,756,650
自己株式	△6,592,755	△5,221,736
株主資本合計	68,071,491	67,857,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,560,749	1,996,938
為替換算調整勘定	7,636,873	8,595,219
退職給付に係る調整累計額	1,041,215	1,001,432
その他の包括利益累計額合計	10,238,837	11,593,589
非支配株主持分	79	83
純資産合計	78,310,407	79,451,346
負債純資産合計	102,801,844	102,133,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	21,914,049	25,050,945
売上原価	18,635,566	21,336,998
売上総利益	3,278,484	3,713,948
販売費及び一般管理費	2,880,653	2,963,360
営業利益	397,831	750,587
営業外収益		
受取利息	34,138	119,574
受取配当金	62,707	68,746
持分法による投資利益	—	26,912
為替差益	69,017	230,962
その他	43,544	33,407
営業外収益合計	209,407	479,601
営業外費用		
支払利息	29,717	31,675
持分法による投資損失	83	—
その他	10,001	11,304
営業外費用合計	39,801	42,980
経常利益	567,437	1,187,208
特別利益		
固定資産売却益	5,050	37,252
負ののれん発生益	—	143,418
特別利益合計	5,050	180,670
特別損失		
固定資産売却損	—	105
固定資産除却損	8,994	5,020
新型コロナウイルス感染症関連損失	34,812	—
関係会社清算損	5,331	—
特別損失合計	49,137	5,125
税金等調整前四半期純利益	523,351	1,362,754
法人税等	191,210	274,277
四半期純利益	332,140	1,088,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,140	1,088,476

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	332,140	1,088,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,188	436,189
為替換算調整勘定	2,894,601	931,854
退職給付に係る調整額	△32,290	△39,783
持分法適用会社に対する持分相当額	23,039	26,496
その他の包括利益合計	2,831,161	1,354,756
四半期包括利益	3,163,302	2,443,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,163,298	2,443,229
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前題に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の購入）

2023年5月12日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当第1四半期連結累計期間において、当社普通株式146,900株を総額388百万円にて取得しました。

（自己株式の消却）

2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施しました。

（自己株式の処分）

2023年5月12日開催の取締役会において株式報酬制度の導入・継続に伴う第三者割当により自己株式の処分を行うことを決議し、2023年5月30日に自己株式220,000株の処分を実施しました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が1,759百万円減少、自己株式が1,371百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が13,097百万円、自己株式は5,222百万円となりました。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、Tenma America Corporation及びTenma Plastic Mexico, S.A. de C.V.の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,157,884	5,266,078	11,490,087	21,914,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,339	118,037	1,271	140,647
計	5,179,223	5,384,115	11,491,359	22,054,696
セグメント利益	139,518	88,773	478,378	706,669

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	706,669
セグメント間取引消去	19,985
全社費用(注)	△328,823
四半期連結損益計算書の営業利益	397,831

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,234,501	5,567,237	14,249,207	25,050,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,672	115,029	37,561	200,262
計	5,282,173	5,682,265	14,286,768	25,251,207
セグメント利益	164,857	341,734	635,681	1,142,272

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,142,272
セグメント間取引消去	△1,389
全社費用(注)	△390,296
四半期連結損益計算書の営業利益	750,587

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

北米において、株式取得によりTenma America Corporation及びTenma Plastic Mexico, S.A. de C.V.が連結子会社となったことに伴い、負ののれん発生益を認識しております。当該事項による負ののれん発生益の計上額は143,418千円です。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、上記セグメント利益には含まれておりません。